

の結城瑞光師、富山の松村文光師、越前の戸田周妙師等實に四十一名、誠に未曾有の盛會と言ふべきであらう。記念撮影をなし吉川啓善師の一入熱調を帯びたる開會の挨拶あり、續いて各師交々立つて自己紹介或は抱負を語り意見の開陳あり、宴酌となるや各所に圓座となつて互に過ぎにし日の思ひ出多き學窓生活語り合ふ状態はまこと筆舌につくし難きものがあつた。かくて和氣霽々裡に午後十時辻能學師の閉會の辭を以て終了この催しの得る所極めて大にして且つ大いに祖山の意氣を高からしめたる事を衷心より喜ぶと共に將來の結束を切望して止まない特に中條、泉兩先生の御臨席下された事は我等の深く光榮とする處心計りの紀念品をお送り申上げ感謝の印とした。

尙大先輩鎌田麗嶽、伊藤海聞兩僧正は宗門要職にある方とて御多用のため御來臨を得なかつたのは誠に残念であつたが特に殊更な御配慮に預つた事は深く感激に堪へない所である。

出席者（○印は發起人）

- 中條是明 泉 義 敬 結 城 瑞 光
 戸田周妙 岡 觀 修 松 村 文 光
 ○淺野耀章 ○守法頂淳 二宮龍巖
 ○辻能學 ○花島良瑞 ○重松學壽
 ○吉川啓善 ○吉田英享 天津泰秀
 大橋潮育 近藤憲正 ○鈴木常耀
 ○田所英照 ○有光友逸 ○貫名英俊
 ○美馬鳳準 大野學正 ○余田慈石

厚德寮々報

- 秋田智淳 ○三木淨達 ○矢谷惠暢
 福澤觀教 中條良暹 小林行海
 ○福山英學 原智晃 山田友篤
 永瀧堯順 上木龍明 山田良信
 牛居一教 今江即淳 北川即正
 横枕智昭 加藤龍靜 各師

因に本會々長として常に懇切なる御指導を下される淺野耀章師は京都修法師會々長として重きをなし顯山評議員其の他の要職にあらね又花島良瑞、三木淨達師は光山學院に教鞭をとり更に常任布教師として活躍せられつゝあるは本會のため欣ばしい事である。（貫名記）

厚德寮々報

舍内は舍監の下に良く統制ある生活をしてゐる。今年度の役員は舍長岩成光運、副舍長前田超光、同藤澤玄唱（多賀）の諸君は舍生一同と協力して學業、行法の増進に一意専心舍の向上發展を謀つてゐる、會計は野口耀源君、會計助手に江口啓淳君物資不足節約の折柄舍生に不自由の感無き様よく切り廻してゐるのには一同喜んでゐるが、九月八日一身上の都合にて江口君退舍辭任し、その後を佐藤孝君が引継ぎをした。舍は南北各寮

二二七

十二室あり各室に室長あり舍生相互の學業の助成と親睦を計つてゐる、食堂、浴場、娛樂室等あり、新聞、教學、雜誌、新聞ラヂオあり、又運動不足勝なる學院生には劍道、相撲、野球等の設備あり戦時下の若人の体育に留意してゐる、尙遠足、旅行茸狩、茶話會等もあり時には隱藝をして爆笑圓滿な人間を作る様心掛けてゐる。

舍生の行事は起床午前四時半乃至五時半で本山の朝勤出仕、七時食法行つて食事、七時四十分登校、正午晝食、午後〇時四十分は午後登校、五時は入浴、この風呂での談笑は一日中の最も楽しい一時で夕食は五時、七時から自習勉強、一同は靜肅に九時の點檢まで行ひ舍監先生の夜の挨拶をす、十一時は消燈就寢ですべて動作は板木の鐘の報知により動作される、舍の南に持佛堂あり食前後一時間讀經三寶に法味を捧げ出征將士の武運を祈願す、その外舍監當直一名三日交代、舍内四名、日直一名、不淨二名、各當直あり舍内外の清潔と整頓に留意してゐる、舍の廊下傳ひに昨年四月より教師寮が二棟増築され師徒同居の感あり親しみの中にも師嚴道尊僧風教育が行はれ學びの舍としては最もよき處である。

皇紀二千六百年を迎へ、大聖逝いて六百五十年、國本愈々堅く、國威四海を歴して進張すると共に我が宗門又隆昌、聖戰の庭に教線は布かれて行つてゐる、國は總ゆる機關を統制ある一團となし、大政翼賛し進むべきと新体制は生れつゝあるが、これこそ大聖人一生の御理想と云はねばならぬ。

佛教も又歸する處は一佛乘で宗派も一團となり佛陀に歸り昭和の維新は名實共に健全なものとしなくてはならぬと思ふ。これには現非常時下をよく認識し、三大誓願を堅く念頭に立正安國の旗を押立て宗祖の第二陣第三陣と進む若き青年僧侶よ、第二日像。日親は我れなりと行學に止暇斷眠して此の舍より輩出されん事を切望して此の筆を止め、稿を脱す。

因みに昨年度の高等部卒業は十名と中等部二名を世に送つてゐる。

學友會々報

北鈴學友會

本會は北海道及樺太出身者にして、遙々祖山の學窓に笈を負ふた本化の學僧を以て會員としてゐるが、本會の誕生は昭和八年で恰度今年は八星霜を迎へることになる。勿論それ已前に於ても何かしらさうした形式のもとに、郷里を同じうする學徒たちの親睦と融和をはかる可く機關のあつたことは想像するに難くはないのであるが、然し此の事はすべて現在學徒の吾々には未知の世界に屬することである。吾々の郷里出身者の先輩のうちでも、今はすでに化境を異にされた藤田光肇師や現在東京に化境を移してゐられる荒木義榮師等々は最も親しみと信頼とを